

伊賀遍路

ありがたや 大師と巡る 伊賀の国

霊場参拝のしかた

※手水場・香炉・灯明立などがない寺院では省略してください。
※無住の寺院では、据置きのご朱印を自分で押して頂くことになります。その際、納経料はお賽銭箱にお納めください。



①札所に着いたら、山門(境内入口)にて合掌・一礼します。金剛杖をお持ちの場合は、片手合掌で構いません。



②手水場で手を洗い、口をすすいで心身を清めます。水は、飲まないようにします。



③持参した線香と灯明をお供えし、お賽銭をあげます。同時に、お写経や納経札を納めます。



④鰐口を鳴らして、気持ち落ち着けてから読経します。経本を開き、一字一字ていねいにお唱えしましょう。



⑤納経帳に、ご朱印を頂きます。札所を訪れてすぐをお願いしておくと、時間を有効に使えます。

⑥札所から出る時も、①と同様に合掌一礼します。

お遍路の服装と持物



現在のお遍路さん

今日、お遍路を巡拝される方は、洋服の上に笈摺とお袈裟を着け、金剛杖・念珠・三衣袋などを持つスタイルが多いようです。運動靴など、お参りしやすい服装をお勧めします。

伊賀四国霊場の由来

三重県の西北部。歴史ある伊賀の地に、伊賀四国八十八ヶ所という霊場がございます。伊賀は、昔より大和と伊勢を結ぶ要所であり、仏教文化の発達と共に、数多くの寺院が建立されてまいりました。

文久三年(1863) 当時の伊賀四郡(阿拝・山田・伊賀・名張)に位置する九十の真言宗寺院をもって、伊賀四国八十八ヶ所霊場が組織されました。

開創は、常福寺(第29番札所)の住職であった本田光照僧正。発願人、中野助次郎と共に四国巡拝に赴き、一ヶ寺ごとに本尊供を修して、その霊場のお土砂を持ち帰りになられたと伝えられます。

伊賀四国八十八ヶ所霊場は、伊賀市と名張市に広がり、行程およそ七十里(280km)。

開創150年の星霜を経た今日もなお、宗旨を問わず、お大師さまのお徳を慕う多くの善男善女による巡拝が続いています。



ホームページのご案内

<http://www.iga-shikoku88.com/>

伊賀四国八十八ヶ所霊場 検索

伊賀四国八十八ヶ所霊場 霊場会事務局

〒518-0204 三重県伊賀市北山338 喜福寺中
TEL0595-52-1170 FAX0595-52-3206